

目指す学校像

- 生徒が学びたい学校
- 生徒が教わりたい教師のいる学校
- 生徒・保護者・地域から信頼され、誇りとされる学校
- 安全で安心な学校

学校教育目標

- 自分も人も大切にしよう
- 心もからだも鍛えよう
- 自ら学んでいこう

目指す教師像

- 使命感をもち、教科の専門性と指導の工夫ができる教師
- 課題解決に向けて、研究・研修意欲のある教師（プロ教師）

本校の特徴（強み、課題）【学力調査結果からの分析】

本校の特徴（強み）

- ・授業に真面目に取り組む生徒が多い。
- ・学習意欲が高い生徒が多い。
- ・グループ学習などに活発に取り組む。
- ・自尊感情、規範意識は比較的高い。
- ・集団として行動がしっかりとれる。

本校の特徴（課題）

- ・真面目に授業に取り組んでいるが、学力向上に十分に結びついていない。
- ・基礎・基本が十分に身に付いていない生徒が伸び悩んでいる。
- ・活発な学習活動が必ずしも学力の定着に結びついていない。
- ・家庭学習の習慣が十分に定着していない生徒が多い。

◎確かな学力を身に付けさせる教育活動の推進

青梅市学力向上5ヵ年計画

「 継続・定着・追及 」 ～勉強好き、青梅好きな子の育成

◇目標

- 学びに向かう力・人間性等 ～ どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（継続）
- 知識及び技能 ～ 何を理解しているか、何ができるか（定着）
- 思考力・判断力・表現力 ～ 理解していること、できることをどう使うか（追及）

【具体的な教育活動】

- 確かな学力の定着と伸張
 - ・授業改善推進プランの活用
 - ・目標が明確な授業の実践
 - ・一人一台の端末を活用した指導方法、形態、教材の工夫改善
 - ・主体的・対話的で深い学びの推進
 - ・学力向上推進計画の活用・改善
 - ・学カステップアップ活動等の活用
 - ・学習指導要領の適切な実施
- 特別支援教育の充実
 - ・個に応じた指導法の工夫
 - ・生徒理解に基づいた指導
- 課題発見・解決力の向上
 - ・体験的活動の工夫と充実
 - ・横断的、総合的な学習活動

【学力向上の手段】～指導の工夫・改善

- ・授業の最初に学習目標を明確に示し、学びがいのある授業を行う。
- ・授業のまとめとして、学習目標に沿った振り返りをしっかりと行い、学力の定着を図る。
- ・各教科の特性を生かしながら、ICT機器などを積極的に活用する。
- ・生徒が自ら進んで活動したり、発表したりする場面を積極的に設定する。また、4人組の学習班を積極的に活用する。
- ・一人一台の端末を活用した復習ドリル、発展課題など家庭学習を促す課題を工夫する。
- ・小テストを活用するとともに、復習プリントなどを充実させ、既習内容・重要事項の定着を図る。
- ・家庭学習の進め方の指導や内容の工夫改善を図る。
- ・個別指導計画に基づき、個に応じた指導の工夫と日常的な情報共有による生徒理解に基づいた指導を行う。（F組）
- ・ステップアップクラス、スタディアシスト、サタデークラスの参加を奨励して授業外の学習の機会を積極的に活用する。